

上越市が「歴史文化基本構想」で実現させる姿は、中核的文化財を核に、地域が個性的な「歴史文化」を体現し、誇りを持って地域を自慢できるようになることです。最終的には、現在3つある中核的文化財が所在する地域が進めるそれぞれの地域づくりをモデルとして、上越市全域で地域ごとに個性的な「歴史文化」を具現化することを目指します。

その実現には、地域住民の主体的な参画はもちろん、行政の役割が重要になります。文化財をいかした地域づくりは、地域を総体としてとらえる「歴史文化」の考え方をもとに進められるものです。地域住民が積極的に地域づくりに携わる仕組みを築くためにも、文化財部局だけでなく、行政が一丸となった姿勢や活動、地域づくりの指針を示し、活動を支援する仕組みなど市全体の施策としての位置付けが必要です。

地域づくりの中で活かされ、生かされる文化財。日常生活の中に歴史文化が見える未来にむけて、上越市は構想の実現に取り組みます。

平成23年1月